

八月号は、恒例となりました図書紹介

の特集です。保育や心理学の専門書から児童文学、文芸書、教養書と、幅広いジャンルの本を紹介していただきました。日頃、子ども達の保育のことでいっぱい頭に、夏の木陰の涼風をおくり、のんびりと、読書を楽しんで下さい。

\*

先日、空地の草刈りをしました。日頃手入れをしていないので、雑草がのび放題です。こんな雑然と生えている雑草もよく見ると、面白い分布？ で生えています。斜面側は、よもぎ、ふぎ、笹、萩、と刈り取ってしまうにはもったいない草が生えています。内側に入るにつれて、すすき、あわだち草、大たんぼぼや名前も知らない本当の雑草ばかりです。

この土地は、以前山だった所を宅地造成したために、斜面側には、山肌が生えていた野草がそのまま残って生えてきたようです。風に運ばれてきた雑草にまぎれて、こんな所に山の名残りを残すなん

て、自然は遅しく可愛いものです。

六月号の特集で書いていただいた徳野雅仁先生の『私の一坪菜園』（徳間書店）によると、「雑草は畑作りの頼りになる味方」だそうです。根をはって土を耕してくれたり、土の乾燥を防ぎ、土の温度が上がらすぎるとのおさええます。徳野先生は「畑の雑草を刈るのは、真夏の七、

八月頃だけです。苗よりも背が高くなる日が当たらなくなるから。それも根っこからぬくのではなく、根元を刈り取りその場においておくのがいいんです。なまけ者でいいんですよ。」とやさしく話して下さいました。

ともあれ、私の草刈りの方は、「畑作り」をしている訳ではないので、草には申し訳ないけれど、御近所の迷惑にならないよう、早くきれいに刈り取ってしまわなくては……。すみかを刈り取られておどろいてとび出してきたバッタやカマキリに「ごめんね！」といいながら、草刈りを終えました。

(K)

## 幼児の教育

第九十巻 第八号  
(一九九一年八月号)

定価四五〇円(本体四三七円)

平成三年八月一日 発行

編集兼発行人 本田和子

発行所 日本幼稚園協会

東京都文京区大塚二一一一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

東京都港区三田五一一二一一

発売所 株式会社フレイベル館

東京都千代田区神田小川町三一

振替口座 東京九一一九六四〇

電話〇三三三二九二七七七八一

●本誌購読のご注文は、発売所フレイベル館にお願いいたします。

●万一、落丁・乱丁などがございましたら、おとりかえいたします。